

おります。

観光入域客数も回復傾向にあることから、ポストコロナに向けた施策を効果的かつ効率的に講じてまいります。

各事業者においては、経営維持に苦慮する中で回復に向けた展開に取り組んでおりますが、コロナ禍を契機に世界情勢や人々の価値観にも大きな転換が予測され、落ち込んだ事業経営を回復させる必要があります。そのため、今一度基本に立ち返り、「久米島町観光振興条例」の理念にある「町、町民、観光事業者、観光関係団体が一体となって魅力ある観光地の形成を推進する」ことに基づきそれぞれ主体の責務と町民を含めた久米島の、すべての魅力を再確認し、チーム久米島一丸となって取り組めるよう推進体制の充実を図ってまいります。

令和元年度（2019年度）からスタートした第2次久米島町観光振興基本計画も今年で最終年度を迎えます。

計画スタート直後から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思うように推

進できておりませんが、残された期間の計画を着実に推進しつつ、これまでを振り返り、次期計画のスタートに向け、「観光立町」を明確に目指し課題解決を図るための1年として取り組んでまいります。

次にウイズコロナ、ポストコロナ等に対応した施策の取り組みについて申し上げます。

本町では新型コロナウイルスの影響に伴う町民ならびに町内事業者等の皆さまへの日常生活、経済活動を支援するため様々な支援を実施してまいりました。

例えば町民向けとして、プレミアム商品券の発行、マイナンバーカードの普及促進を図る目的と物価高騰対策を兼ねた地域商品券の給付などにより、低迷している町内の経済消費を喚起するとともに、町民による地域内での消費を促進すると地域内経済の循環による事業者への支援も行つてまいりました。引き続き町民又は事業者への必要な支援に取り組んでまいります。

次にプロ野球や野球を中心としたアマチュアスポーツの合宿・大会誘致への取り

組みについて申し上げます。本町はこれまでに、入域客の閑散期対策のひとつとしてスポーツコンベンションを推進してきました。特に、久米島野球場、仲里野球場を中心としたプロ野球のキャンプや社会人、大学のキャンパスの受入れ、並行して学童・中学校・一般の大会など積極的に誘致してまいりました。



リトルシニア野球大会

また、県内最大級の45ホールを有するパークゴルフ場は、多くの町民に利用され月例会や島外からの参加者との交流大会の開催は好評を得ています。これらの強みを活かし、継続的に誘客・誘致ができるよう、受け入れ組織体制や施設の充実を図ってまいります。

昨年実施した久米島マラソンは3年ぶりの開催となりましたが、参加者の笑顔があふれる大会となり、改めてリアル大会の開催意義を実感しました。受け入れ体制等の充実を図り、より久米島らしい大会を目指してまいります。

航空路、海上航路については、沖縄県と連携し運賃低減対策に取り組んでまいりましたが、昨今のコロナ禍における需要減退に加え、燃油高騰や円安の煽りを受け、事業者の経営環境も変化していると認識しております。

引き続き沖縄県と連携し事業者支援等に取り組みながら、交通コストに係る町民の経済的負担の軽減、観光等の交流人口の増加に努めてまいります。

町民生活の重要な交通手段である路線バスについては、運行路線、バス停の配置、時刻表などの運行環境や体制の見直しを行い、利便性の向上に努めるとともに、引き続き民間事業者への移管も含め地域公共交通の充実を図ってまいります。

特産品開発や販路拡大につきましましては、引き続き久

米島商工会と連携したブランドデザインサポートの推進や離島フェアをはじめとする各種物産展の開催を支援してまいります。また、販路拡大につながるよう品質向上に向けた取り組みの促進を図ってまいります。

商工業の振興については、引き続き商工振興の担い手の中心的存在である久米島商工会への支援と連携により、コロナ禍で大きな影響を受けている町内事業者の経営継続や回復に取り組むとともに、事業承継に関する情報を収集し、その対策を促進してまいります。

久米島紬の振興については、後継者育成や販路拡大・販売促進の支援を行うとともに、久米島紬の生産が今後とも持続的に継承されるよう染料確保や作業所の環境等について引き続き久米島紬事業協同組合と連携してまいります。



久米島紬糸とりの様子